

平成25年度 起業支援型地域雇用創造事業一覧

【県事業】

| 整理番号 | 実施部局 | 分野区分 | 事業名 | 事業内容 |
|------|-------|--------------|------------------------------------|---|
| 1 | 県民生活部 | 産業振興・情報化 | 「美作ジビエ」加工品製造拠点整備事業 | 有害野生鳥獣を食肉として利活用し、新たな地域資源として普及を図るため、獣肉加工のノウハウや流通ルートを持つ関係団体と連携し、手頃な価格で美味しいジビエ加工品の開発・商品化や、京阪神など大消費地への販路開拓等に取り組むとともに、食に関わる地域内の関係団体と連携し、地域にこだわった新商品の開発やジビエのPRを進める。 |
| 2 | 環境文化部 | 地域・文化・スポーツ振興 | 伝統文化担い手育成事業 | 後継者不足に悩む伝統文化の分野を中心に、学校等で子どもたちに伝統文化を体験させた上で、アンケート調査を行い、子どもたちが伝統文化に対してどのような知識やイメージを抱いているのかを細かく把握し、担い手の発掘や育成につなげる。 |
| 3 | 環境文化部 | 地域・文化・スポーツ振興 | シャルムによるスポーツ活動推進事業 | なでしこリーグの魅力や、サッカーの練習方法、シャルムによる県事業PRなどを県のウェブサイトやシャルムのサイトに加え、チラシなどで広く県民に普及啓発することで、スポーツに親しみ、スポーツを身近に感じてもらい、スポーツへの関心を高める。 |
| 4 | 環境文化部 | 地域・文化・スポーツ振興 | 「スポーツ立県おかやま」推進事業 | 地域活性化と「スポーツ立県おかやま」の実現につなげるため、女子サッカーチーム「湯郷Belle」で、公式戦の事前PRによる誘客促進や県事業の周知、選手とサポーターの交流事業などを行う。 |
| 5 | 保健福祉部 | 福祉・健康 | 障害者施設の商品ブランドアップ事業 | 障害のある人の工賃を向上し、自立を促進するためには、県内の障害者施設が手がける商品について、一般企業との差別化を図り、一層の販路拡大につなげる必要がある。特に商品のブランド力アップ【売れる商品づくり】の取り組みが重要であることから、本事業により重点的かつ集中的に取り組むを進める。 |
| 6 | 保健福祉部 | 医療 | 訪問看護人材育成支援事業 | 訪問看護事業所において、看護師としてのスキルアップ研修や職場訓練等を受けながら、訪問看護業務に従事することによって、訪問看護師の人材の確保、育成、定着を図る。 |
| 7 | 保健福祉部 | 福祉・健康 | 当事者による精神障害者支援活動基盤整備事業 | 精神障害者の地域生活への移行を促進するためには、当事者による普及啓発や相談支援が有効であり、安定的に活動を展開できる基盤が必要である。そこで、失業者を雇用し、各種研修の受講、相談業務等に従事し、人材の確保、育成、定着を図るとともに、福祉サービスを安定的かつ継続的に提供する体制の基盤整備を図る。 |
| 8 | 保健福祉部 | 福祉・健康 | 精神障害者入居等支援体制強化事業 | 精神障害者の地域生活への移行を促進するためには、大家や住民等が当事者への理解を深めて社会的孤立を防ぐことや保証人の確保等入居支援が重要となるため、会議、研修等による普及啓発・資質強化や社会資源の開発（ニーズ調査含む）・体制づくりの観点から事業展開ができるよう事務局体制の整備を図る。 |
| 9 | 産業労働部 | 産業振興・情報化 | 生活基盤維持サービスビジネスモデル調査・提案事業 | 県内の地域特性を踏まえた一定数の地域内に存在するサービスについて、事業主体、公式・非公式に関わらず包括的な調査を実施し、一定の尺度による地域間での比較可能な形での整理を行う。当該調査結果と住民ニーズを総合的に検討し、需要面・供給面からサービスの集約化による小規模多機能なビジネスモデル構築の可能性を検証する。結果は、県内自治体・NPO等へ情報提供する。同時に、地域に密着した調査を行うことで調査担当者の資質向上を図り、地域課題を解決するためのアドバイザーとして人材育成を目指す。 |
| 10 | 産業労働部 | 産業振興・情報化 | 地域生活総合支援ビジネスモデル構築事業 | 地域を拠点に活動しているNPO法人に、生活支援に関する住民ニーズと住民提供サービスの基礎調査を委託し、住民ニーズと住民提供サービスの効率的なマッチングづくりを図るとともに、事業を通じて、NPO法人の調査力・地域活動力の向上や人材育成を支援する。 |
| 11 | 産業労働部 | 産業振興・情報化 | 中小・小規模新事業展開雇用創出支援事業 | 地域経済を支える中小企業等に、必要な人材の確保と育成を委託し、地域で活躍できる人材の定着を図るとともに、中小企業等の経営力の向上と地域経済の活性化を目指す。 |
| 12 | 産業労働部 | 産業振興・情報化 | 技能実習生雇用マッチング支援事業 | 外国人技能実習生はマッチングの場が十分でないことから、海外の送り出し機関と協力し、日本での技能実習にふさわしい人材と中小企業等とのマッチングシステムを構築し、ミスマッチを解消するとともに、実習先でのトラブルを防止するため関係機関との連絡調整等を行う。 |
| 13 | 産業労働部 | 産業振興・情報化 | 地域活性化プロジェクト企画支援事業 | まちづくりや地域貢献活動に取り組む民間団体に、中心市街地等地域活性化につながるアイデア募集からその実践までをコーディネートも含め委託し、団体の地域づくりに関する企画実践能力を育成し、地域の諸課題に適切に対応することにより、賑わいの創出や活性化につなげる。 |
| 14 | 産業労働部 | 地域社会雇用 | プレワークプロジェクト事業 | 若年無業者の職業的な自立のため、各種相談やチャレンジ体験などの支援に加え、県内企業等の協力のもと、職場体験から就職まで職業定着のためのサポート等を行う。 |
| 15 | 農林水産部 | 農林水産 | 県産果物加工産業促進モデル事業（農産品加工産業推進・農家の経営安定） | 人手不足等により有効に活用されず廃棄される果物を有効に利用するため農家を巡回し果物を集め、ニーズの高い中間素材（ピューレやコンポート等）を製造を行うことで、最終加工品を製造するユーザーに対する新たな販売拡大を図る。 |
| 16 | 農林水産部 | 農林水産 | 県産農作物ネット販売促進事業 | 野菜をはじめとした農産物のネット販売について、今後の中山間農業を推進していく上での重要なツールであると期待されていることから、きめ細かな対応や高付加価値なサービスを展開し、ネット販売の売上げ確保を目指す。 |

【市町村事業】

| 整理番号 | 実施主体 | 分野区分 | 事業名 | 事業内容 |
|------|------|----------|--------------------------|---|
| 17 | 岡山市 | 産業振興・情報化 | まちづくり活動促進事業 | 中心市街地地域の重点整備エリアにおいて、空き店舗の利活用による商業・地域交流スペースの運営事業、情報発信・調査事業、地域活動事業等を一体的に実施する。 |
| 18 | 倉敷市 | 産業振興・情報化 | ステージユニフォームPR事業 | 市内の学生服製造事業者のステージユニフォーム事業を支援するために、無償使用可能な新たなPRコンテンツの制作などの事業を展開する。 |
| 19 | 倉敷市 | 産業振興・情報化 | 縫製技術者育成事業 | 若い日本人に縫製技術者の世界を知ってもらうため、就業と研修等を通じて定着化を図るとともに、日々の業務等をブログやSNSで発信する。 |
| 20 | 倉敷市 | 観光 | 地域資源活用型観光商品開発・販売事業 | 観光客が「倉敷ですごした時間」を思い出として持ち帰れるお土産商品を、地域資源を組み込んだ観光商品として地元企業とともに開発する。 |
| 21 | 倉敷市 | 産業振興・情報化 | セールスプロモーション関連事業者育成事業 | 繊維等の地場産業における商品価値を高めるブランディング技術に秀でた地元セールスプロモーション（SP）企業の育成を目的に、海外販路拡大を希望する製造企業の商材や地場産品について倉敷発のブランドとして強力な差別化を図るためのPRを展開させる。 |
| 22 | 倉敷市 | 産業振興・情報化 | 新規学卒者等キャリア支援強化事業 | 新規学卒者等の就職率向上を図るため、新規学卒者等を対象とした就職ガイダンスやセミナー、研修等を行う。 |
| 23 | 津山市 | 観光 | つやま屋台村支援事業 | 「つやま屋台村(仮称)」について、開設の準備及び開設直後から運営に関わることで、屋台村事業の円滑なスタートを支援し、商店街の空き店舗を活用して観光情報を発信しつつ、地元産品や土産物の販売、牛肉を使った料理に関する知識・技能を習得させる。 |
| 24 | 津山市 | 福祉・健康 | まちなか健康サポート事業 | 商店街と共同で高齢者等の中心市街地居住者や来街者の健康サポート事業などの新事業を展開する。健康サポート事業では、健康運動指導士の資格取得を目標とし、また、津山市が進めている高齢者の転倒予防を目的とした取組みである「こけない体操」をベースとした運動指導を行い、周辺部に比べて立ち遅れている中心市街地での同種の取組みを加速させる。 |
| 25 | 津山市 | 介護 | 介護職人材育成事業 | 起業後10年未満の地域密着型サービス事業者等に対し、失業者を雇用し、施設現場で実習等を行い、介護についての知識・技能を習得させ、また、働きながら介護の資格を習得させる。 |
| 26 | 津山市 | 環境・エネルギー | 津山市地域小水力発電事業ポテンシャル調査事業 | 本市の豊かな自然環境を守り、地域からの創エネルギーを推進するため、市域内に有する豊富な水資源を利活用すべく、小水力発電事業についてのポテンシャル調査や事業化可能地域及び事業計画案を策定することで、地域での小水力発電事業実施者を掘り起し、地域内での雇用創出及び地域の活性化を図る。 |
| 27 | 津山市 | 産業振興・情報化 | 地域産品活用 新商品開発事業 | 津山の特産品である牛肉や津山ショウガ等の地域産品を活用し、家庭料理として親しみやすく、かつ観光客を対象とした土産物としても市販可能な「新商品」を開発して、地域産品の消費拡大による農工商連携の推進を図る。 |
| 28 | 津山市 | 地域社会雇用 | GS過疎地でのGS住民運営システム構築支援事業 | 阿波地域にあるガソリンスタンド（GS）が平成25年度末で撤退予定であるため、住民出資による新会社において、GS存続に向けた複合化運営システム構築に向けた事業化可能性調査及び実証試験の取組支援を行う。 |
| 29 | 津山市 | 産業振興・情報化 | 伝統工芸品「作州絁」普及促進事業 | 作州絁は、一時には技術保有者が絶えてしまっていた津山市の伝統工芸品であるが、近年、県に正式に製造者が認定され、復活が進んでいるところにある。そこで、この「作州絁」を広く普及させることを目的に宣伝活動やPR活動を行うとともに、作州絁を用いた新商品の開発・作成及び販売を進める。 |
| 30 | 井原市 | 介護 | 育成型人材確保支援事業（介護事業） | 介護保険サービスの人材育成・確保、資質の向上を図る事業を民間業者へ委託し、資格取得等を目指した研修付き（育成型）の雇用を実施することで、職場への定着（継続雇用）を図る。 |
| 31 | 井原市 | 産業振興・情報化 | 育成型人材確保支援事業（商工業） | 人材の育成による技術力向上に取り組む事業について民間業者へ委託し、資格取得等を目指した研修付き（育成型）の雇用を実施することで、職場への定着（継続雇用）及び地場企業の体質強化を図る。 |
| 32 | 高梁市 | 農林水産 | 地域資源活用型6次産業化人材育成事業 | 「高梁紅茶」の量産化と付加価値商品化等により事業の拡大を目指す。 |
| 33 | 高梁市 | 農林水産 | 地域資源活用型適期収穫安定生産事業 | 土づくりと適期収穫野菜の乾燥技術の確立による安定生産を目的に、取組成果を耕作放棄地対策と地域経済の活性化に結び付ける。 |
| 34 | 新見市 | 観光 | 着地型旅行商品造成支援事業 | 観光資源や食の資源を活用した新商品の開発や、新たな市場を開拓するためのPR事業などを行う。 |
| 35 | 新見市 | 観光 | 地域資源活用にぎわい創出事業 | 新見市の中心市街地の賑わいを再生するため、拠点施設である太池邸を活用し、カルチャー事業や“和カフェ”を設置し、交流の場を創設する。また、地域資源を活用した特産品等についても、観光協会や商工団体と協力し、インターネットやフェイスブック等の情報媒体を活用し、首都圏への販路拡大を目指す。 |
| 36 | 真庭市 | 観光 | おもてなし拠点、情報拠点整備及び特産品等PR事業 | 真庭を観光に訪れるお客様に対し、市内公共交通の中心であるJR中国勝山駅を観光案内の拠点として、専門的に観光情報の提供を行う人材を配置し、観光ガイドなどを活用したおもてなしの向上や滞在時間の増加を目指す。また、お土産などの特産品の物流拠点としての機能検証を行う。同時に、小規模な事業所でHPも持たない観光関連事業所（観光連盟会員）を中心に簡易HPの作成アプリケーションの検討及び作成と、情報拠点の整備、機能強化<素材(写真、動画、アプリケーション)収集及び加工>を行い、情報、物、人の拠点整備により一層の情報及び物販の販売拡大に繋げる。 |
| 37 | 真庭市 | 観光 | 教育旅行を主とした産業観光受入体制整備事業 | 現在「バイオマスタウン真庭」を切り口とした「自然環境学習」をテーマに、修学旅行や体験学習をはじめとした教育旅行などの誘致を積極的に実施しているところであるが、体験メニュー（雨天時含む）やそれに伴うガイド不足など受入体制の整備に多くの課題が残っている。また、近年の教育旅行では、物見遊山型から人と人とのふれあいを求めているケースが増加しているため、おもてなしの心をもった「真庭らしい」体験メニューの造成や、それに伴うガイドの養成など受入体制の整備を目指し、より一層の誘致を促進する。 |

【市町村事業】

| 整理番号 | 実施主体 | 分野区分 | 事業名 | 事業内容 |
|------|-------|--------------|---------------------|---|
| 38 | 美作市 | 観光 | 美作「おもちゃの街」づくり観光推進事業 | 地域で観光関連事業を展開している企業等に対し、街頭等でのPR活動、旅行社やマスコミ等への訪問活動及び各種企画による観光推進事業を委託し、営業面の強化を支援する。 |
| 39 | 矢掛町 | 観光 | 地域資源活用型観光ビジネス創出事業 | 地域資源を組み合わせた観光ツアーを開発し、モニターツアーの検討・実施を行う。また、観光客を誘致した際のお土産物の研究・開発を、地域商店街と協力して行う。 |
| 40 | 矢掛町 | 福祉・健康 | 子育てひろばふれあい交流事業 | サロン(主に子育て中の親子を中心として誰でもいつでも気軽に集える場)を開設し、子育て中の親子等が集まり、ふれあい交流していく場を設ける。NPOの子育て事業を担う人材の確保と育成を目指す。 |
| 41 | 矢掛町 | 地域・文化・スポーツ振興 | 地域スポーツ活動基盤整備事業 | 各世代のニーズに沿った多種多様なスポーツ教室、スポーツイベントを新たに企画・開催し、町民の生涯スポーツへの意識を高め、健康なまちづくりを目指すとともに、スポーツ教室を開催していくための指導者を発掘、育成していくことを目的に、講習会等を開催する。 |
| 42 | 矢掛町 | 産業振興・情報化 | 商店街活用型販わい創出事業 | 矢掛商店街など地域の商業を取り巻く環境は非常に厳しく、また、経営者の高齢化によって、徐々に空き店舗が増えており、疲弊している。そこで、空き店舗を活用するため、空き店舗の状況を調査し、利用に向けての方策を検討するとともに、商店街が一体となったイベントやセールを検討・実施をし、商店街に販わいの創出を行う。 |
| 43 | 新庄村 | 農林水産 | 新庄村産大豆活性化事業 | 農業生産法人において、転作田による地元産大豆の生産と加工に取り組み、飲食店において生産した大豆や加工品を使用した料理メニューを提供し、農業分野の雇用創出と食を通じた農村振興を図る。 |
| 44 | 新庄村 | 農林水産 | 源流農産物生産流通販売推進事業 | 農産物の生産販売に取り組みする事業団体において、有機栽培による安全安心な農産物の魅力発信を行い、少量多品目となっている農産物の安定的な価格販売を目指す地域ブランド化を図る。 |
| 45 | 新庄村 | 農林水産 | ヒメノモチ粉を活用した移動販売推進事業 | もち粉を加工して商品を移動販売車で販売を行っている事業者において、もち粉を活用したお菓子等の新商品開発を行うとともに、年間を通して幅広い年齢層にもち粉商品を安定販売する。 |
| 46 | 新庄村 | その他 | 子育て世代雇用創造推進事業 | 子育て世代の活動団体に委託し、県内の百貨店と共同でオリジナル商品の開発を行い、魅力ある商品を提案するとともに、子育て世代の仕事と家庭の両立を支援する託児サービスの提供を行う。 |
| 47 | 鏡野町 | 観光 | 里山健康ツーリズム推進事業 | 町の魅力である「里山」と「健康」に特化した着地型旅行を推進し、戦略的な情報発信や旅行商品の企画・造成を行う。 |
| 48 | 西粟倉村 | 産業振興・情報化 | 百年の森林構想 西粟倉の家具創造事業 | 高付加価値型間伐材利用の一つとして、平成21年度からふるさと雇用再生特別基金事業で取り組んできた、『西粟倉の家具』ブランドの企画・製造を一層強化するため、製造だけでなくデザインもできる職人の育成を図る。 |
| 49 | 西粟倉村 | 産業振興・情報化 | 次代を担う子どもたちに木の温もりを事業 | 木の暖かさ、森林の大切さを都市部の子どもたちに伝えるために、間伐材を利用した保育園や幼稚園用の家具や遊具を設計・制作できる木工職人の育成を図る。 |
| 50 | 吉備中央町 | 農林水産 | 地域資源活用販路拡大事業 | 地域資源である野菜・果物等を有効に活用し、新しい特産品の開発及び販路開拓を促進することにより、地域の活性化と雇用の創出を図る。 |